

キッズみんなの日記

1月号

新年明けましておめでとございます。本年もどうぞ梨香台ゼミナールを宜しくお願い致します。そして「キッズみんなの日記」も引き続き応援いただければ幸いです。本年もキッズのみなさんが一生懸命書いてくれた日記をみなさんに楽しんで頂けるよう、ご紹介して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、今回は、学校での行事やお家でのごし方を題材にした作品が多くありました。みなさんの頑張りがよく伝わる作品を取り上げていきますので、是非楽しんでご覧いただけます。特に高学年は読み手を意識した分かりやすい文章が書けるようになっていきます。また、文章も以前より長くなっていますね。六年生が日記を書くのはあと二か月ですが、最後まで良い日記を意識して書いて頂けたらと思います。

優秀作品紹介

★日常の「コマ」を生き生きと★

ねこふんじやった(ピアノ)

わたしは、ピアノでねこふんじやったがひけるようになりまして。
 コツは、手を、
 上手につかうことです。
 でも手を上手につかえないところがあります。
 それは、手と手をぎやくにするところです。
 わたしにとつてそこは、一本ずつしかゆびがつかえません。こんど、ねこふんじやったを



ひく時、お母さんに、手がぎやくの時、どう手をつかえばいいか聞いてみます。

(小二 MMさん)

ピアノを上手に弾くコツを見つけてさらに上達しようと頑張っている様子が伝わってきますね！頑張ってくださいね！

おり紙
 きょう、学校でおり紙でキツネを作りました。まあときょうのをあわせて十三こになりました。

きょうは六こ作りました。まえば七こ作りました。十三こ作るのがたいへんでした。

(小二 MKくん)



折り紙でキツネを作るのはむずかしそうですね。十三個も作って何か作品をつくるのかな？と読み手が思わず想像してしまう文章ですね。

★★自分の思いを伝える★★

イット

ぼくは、いま、イットにはまっています。お母さんは、こわいと言っけど、ぼくはおもしろいと思います。理由は、いつ、どこからイットがでてくるか、わからないからです。あといきなり



後ろからでてくるところがこわいと思いました。ぼくは、もっとホラーえい面を見てみたいです。

(小三 MHくん)

ホラー映画の代表作を鑑賞したんですね。お母さんとのやりとりや、何故この映画が好きなか理由がしっかり書けていますね。

リムジンに乗ったよ
 昨日、かつしか区に行きました。楽しかった事を話します。

リムジンは、乗った事がなかったので、楽しみにしてました。その中でもびっくりしたのは、ふつうの車は横にまどがあつて座席で見たら、すごいながめてました。

リムジンは年に一度なのでまた誕生日の時に乗りたいです。

(小三 MKさん)



お誕生日にリムジンに乗れたうれしい気持ちで上手に表現出来ていますね。来年のお誕生日も乗れるといいですね！

パソコンをつかった
 五、六時間目にパソコンをつかいました。パソコンで「市川百せん」というものをしらべました。

市川百せんでは、市川のせつけいさががしました。きれいなせつけいが、たくさんありました。



市川は歴史が長い土地なので、パソコンで調べると沢山のことを知ることが出来ますね。海にも面しているので絶景がたくさんありそうですね！

千葉ロッテマリーンズ

千葉ロッテマリーンズの野球の選手がきて野球を教えてくださいました。最初はキャッチの練習をしました。上にボールをなげてキャッチする練習をしました。むずかしかったです。次は投げる練習をしました。なげてみたらそんなにとびませんでした。

やり方やコツを教えてくださいました。もうつたらすごいとびました。うれしかったです。またやりたいです。

(小四 KSくん)



プロの野球選手に直接指導してもらったなんてすごいですね！嬉しい気持ちで伝わってきますよ！

ピーマンの肉づめ

今日、ピーマンの肉づめを作りました。初めてだったので、できるかどうかわかりませんでしたが、まず、ピーマンを半分に切って、わたと種を取り出し、へたをとりました。次に、小麦粉をかけて、ひき肉を入れて、最後にオーブンで焼いて、できました。でも、食べた時に、お肉とピーマンをくっつけていた小麦粉が少なく、パツと、とれて



まいりました。それでも、家族によるこんでもらえて良かったです。

(小四 KMさん)

初めて作る料理の手順を読み手に伝えるように丁寧に書くことが出来ていますね。家族に喜んでもらったことが一番うれしいですね。

図書館に行ったよ

私は本が大好きです。なので、いつもお母さんに本を買ってと言っているのですが、お母さんはいつも、「図書館で借りればいいじゃん。」と言って、今日は図書館に行きました。



「図書館で借りればいいじゃん。」
と言って、今日は図書館に行きました。

お母さんがいつでも借りれるように、私せん用カードを作ってくれました。これからたくさん本を読みたいと思いました。

(小四 YGさん)

図書館に行くワクワクしますよね！自分専用のカードを作ってもらい好きな本をたくさん読むことが出来るようになりますねー

出来事や気持ちを

より細やかに伝える

赤い羽ほ金

私は委員会代表委員をやっています。代表委員は学校の代表で運動会などの司会もやったりします。その中で今回は、赤い羽ほ金をやりります。

赤い羽ほ金はまずポスターを自分で書いて

自分のたん当の教室にもって行って日時や集める理由も言います。すぐくんちょうしました。

そして今日、

朝みんなよりも十分くらい早く行って、しようこう口で箱を持ってば金していれる

お金をまちます。お金を入れてくれた人に赤い羽を一枚わたします。

みんなの代表になれてよかったです。

(小五 FYさん)



ポスターを作り、みんなの前で募金に協力してもらった理由を話すのとても立派なことですね。責任感と緊張感が伝わる作品でした。

書き初め

ぼくは、今日、学校で二時間目に書き初めをやりました。今回やる字は「伝統を守る」という字をやりました。

これまでにやってきた習字の集大成なんだ。

という思いで書きました。

習字の先生からの指摘もあり無事最高の一枚が出来上がりました。とてもうれしかった半分、やりきったという気持ちがありました。

(小六 HMくん)



「集大成」という言葉がいいですね。小学校最後の学年ということが強調され、読み手に力強い気持ちを表現出来ています。素晴らしい！

大掃除

十二月二十日曜日に、家族みんなで大掃除をしました。最初はお父さんが窓

ふき、お母さんが荷物の整理で、ぼくはごみを集めたり、捨てにいたりしました。「このごみとって〜」とか、

「これ捨てにいくくれる？」

とか、あちこちから呼ばれて、大変でした。

でも、掃除が一段落終わってお母さんが、

「ちょっと休憩しようか。」

と言って、お菓子やジュースをだしてきて、みんなに配って、そして、みんなが、「いただきます。」

と言って食べました。つかれていたのとて

もおおいしかったです。部屋がとてもきれいになったのが実感できたので、とても嬉しくて、またやろう、と思いました。

(小六 OMくん)



大掃除は大変ですが、家族で協力して終わった時には気持ちもすっきり、またやろう！と思えるところが掃除のいいところですね。

平和の語り部

今日は、平和の語り部がありました。平和の語り部は、戦争を体験した、広島や被爆者の方が来てくれました。

被爆した当時、その方は七さいで学校にいたそうです。八月六日、地上六百メートル(スカイツリーの高さくらい)で原子爆

弾が破れつしたそうです。その時、ピカッと光って、そのしゅんかん爆風が来ました。ガラスは割れ、みんなの身体につきささったり、木造校舎もつぶれて

しまいました。私は机にもぐったので、机から出た左肩にガラスがつきささっただけでしたが、木造校舎の下じきになっている子

たちもいて、その友達を助けてあげることができなかつたのでつらかったです。」と言っていました。被害はこれだけでなく、電車の中で立っていた人も約三千度の熱でいっしゅんの間に、立ったまま黒く焼かれてしまったとも言っていました。あまりにも残こくだし、おどろきとこわさで私は固まってしまいました。そして、一番おそろしいと思っ

たのは、放射線です。目に見えない放射線は、浴びてしまうと、体の中で細ぼうなどが破かいされてしまい、病気になるてしまいます。原爆の熱線や爆風の中でやっど生きのびられても、何年かたつてじょじょに放射線が原因で亡くなっている人が今もいます。それに、いくら洗つても落ちない、ねばねばとした黒い雨で被害を受けた人もたくさんいます。戦争は、体の傷をつくつてしまっただけでなく、大切な人を失ったり、被爆者の人たちが差別されるという、心の傷までつくつてしまいます。戦争や核兵器を使つて、よいことなんて一つもありません。被爆者の方の話を聞いて、核兵器がどんなに残こくでおそろしいかを知ることができたので、被害を受けた人の思いがむだにならないように、このこわさを忘れないで、平和の大切さを伝えたいと思いました。

(小六 UKさん)

戦争経験者の高齢化が進む中、直に体験談を聞くことが出来るのは貴重な経験ですね。平和な時代に生きている我々が、想像すること、思いやること、未来に平和を繋げるためには何をすべきが今一度考えさせられる作品でした。

「キッズみんなの日記」に関するご意見、ご感想は、info@koshidai.comまたは、編集担当 石橋 y-shibashi@koshidai.com まで、ご一ご寄せください。皆様のご意見を参考にし、より良い紙面一作りに努めて参ります。